



**-PROFILE-** 1972年長野市生まれ。建築家を目指し専門学校へ進学。東京での建設会社勤務を経て、1998年に一級建築士の資格を取得。1999年宮田工業株式会社に入社。父でもある先代の社長のもと経験を積み、2020年代表取締役役に就任。

宮田 宗一  
MIYATA SOUICHI

宮田工業株式会社／ブルースジャパンMIYATA  
代表取締役社長・一級建築士 **宮田 宗一**

MY FAVORITE

# タオル

首にタオルは宮田社長のトレードマーク。「汗っかきなので夏場はもちろん、冬は冬で”首は冷やしてはならぬ”という強い意志で、年がら年中巻いています」と奥さま。この日は夫婦で大ファンというB'zのライブタオルを装着。



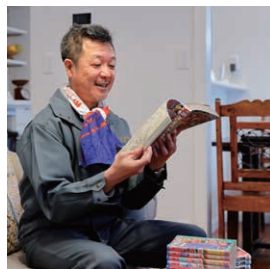
# バスケ

中・高とバスケ部だった宮田社長。レギュラーにはなれなかったが今でもバスケへの情熱は持ち続け「SLAM DUNK」は全巻読破。会社にバスケットゴールを設置し、体を動かしたいときなどに息子さんと息抜き兼ねて1on1をすることも。



# マンガ

マンガを読むのが大好きで自宅にはコミックがたくさん。「週刊少年マガジン」は18歳のころから愛読し発売日には必ず購入。忙しくて読む時間がないこともしばしばだが、休みの日にまとめて一気に読める時間も幸せなのだとか。



# V2H

自宅には太陽光発電を設置し、蓄積された電力を電気自動車に還元。電気代の節約はもちろん「地域で停電になったとき、我が家だけ明るかったです」と、災害時にも役立つので、これからの時代ますます需要が高まりそう。



宮田工業株式会社の強みを教えてください

それぞれの分野を極めたプロが集まりワンストップの家づくりを提案します

父が初代、私が二代目になるんですが、高校生までは稼業を継ぐ気はまったくなかったんです。ただ少しやんちゃだったこともあり、親に恩返しをしたいと思い建築家を志しました。東京にある建設会社に就職し現場監督などを経験。いざ稼業を継ぐとなったときに、手ぶらじゃ帰れないなと思い、改めて勉強し直して一級建築士の資格を取得しました。父はもともと板金職人だったので、全国チェーンの大手紳士服メーカーや家電量販店の外装などを手掛けており、私が帰郷する4年ほど前に住宅事業をはじめたと聞いています。現在も輸入住宅の建築設計のみに留まらず、建築板金、太陽光設置、不動産など、それぞれのプロフェッショナルたちが集まり、ワンストップで対応させていただいています。

大切にしていることは何ですか？

災害に強い工法で、家族みんな仲良く安心して過ごせる家を作り続けたい

お客さまにとっては一生を決める大きな買い物となるので、ご家族が大切にされている価値観を想像しながら、お気持ちに寄り添えるご提案を心掛けています。やりがいは、お客さまからの笑顔と感謝の言葉をいただけたとき。お礼のお手紙をいただいたり、息子さんが私の似顔絵を描いてくださったこともあるんですよ。うれしくて今でも大切に手帳に挟んであります。家族みんな仲良く安心して過ごせる家を作り続けたい。これからの時代、特に災害に強い家が求められていくと思うので、当社が提案する2×4、2×6工法の価値がより高まっていくのではと思っています。



お客さまの価値観に寄り添った提案を心掛ける。

撮影のためにスーツで登場いただいた宮田社長。「ふだんは作業着にタオルです」と笑顔で話してくれた場所は、長野市川中島にある宮田工業が手掛けた輸入住宅のモデルハウス。取材当日は大雪だったが高い断熱効果のおかげで家中快適だった。





宮田工業株式会社/ブルースジャパンMIYATA  
〒長野市青木島町大塚131-1  
☎026-285-6061  
bj-miyata.com

